

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課  
 リコール対策室  
 TEL 03-5253-8111 内線 42353  
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成18年8月3日

リコール届出番号	1707	リコール開始日	平成18年8月4日
届出者の氏名又は名称	いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長 井田 義則		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-119-113
不具合の部位（部品名）	制動装置（ブレーキチャンバ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>①スプリング式駐車制動装置において、水浸入防止キャップを保持するネジの打ち込み作業が不適切なため、スプリング室に水が浸入し、スプリングが錆びることがある。そのため、スプリングが折損し、ダイヤフラムが損傷してエアが漏れ、最悪の場合、走行中駐車ブレーキが作動するおそれがある。</p> <p>②スプリング式駐車制動装置において、スプリング室とサービブレーキ室とを連結する配管の一部（エルボ部）の材質が不適切なため、経時劣化により亀裂が発生し、スプリング室に水が浸入し、スプリングが錆びることがある。そのため、スプリングが折損し、ダイヤフラムが損傷してエアが漏れ、最悪の場合、走行中駐車ブレーキが作動するおそれがある。</p>		
改善措置の内容	<p>全車両、駐車ブレーキチャンバの製造場所マークを確認し、該当するものは、</p> <p>①ネジ部に接着剤を塗布する。なお、スプリング室内部に錆のあるものは、駐車ブレーキチャンバ（ピギーバック）を良品と交換する。</p> <p>②全車両、エルボ部を対策品と交換する。</p>		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	顧客からの連絡による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールまたは直接訪問で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、後面ガラス左下隅にNo.1707のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
いすゞ	KL-EXD52D3	ギガ	EXD52D3-3000306～EXD52D3-3001026 平成13年9月5日～平成15年8月26日	577	①②
	KL-EXD52E3		EXD52E3-3000048～EXD52E3-3000145 平成14年2月5日～平成15年7月24日	94	
	KL-EXD52G3		EXD52G3-3000020～EXD52G3-3000028 平成14年3月21日～平成15年5月19日	9	
	KL-EXD74D3		EXD74D3-3000064～EXD74D3-3000099 平成14年1月25日～平成15年7月19日	36	
	KL-EXR52D3		EXR52D3-3000149～EXR52D3-3000292 平成13年12月4日～平成15年7月5日	120	
	KL-EXR52E3		EXR52E3-3000050～EXR52E3-3000061 平成14年2月23日～平成15年1月15日	11	
	KL-EXR52G3		EXR52G3-3000012～EXR52G3-3000019 平成14年1月25日～平成15年6月17日	7	
	KL-EXR74D3		EXR74D3-3000089～EXR74D3-3000132 平成14年1月17日～平成15年7月2日	44	
	KL-EXR74G3		EXR74G3-3000011～EXR74G3-3000013 平成14年1月25日～平成15年4月10日	3	
	(計9型式)	(計1車種)	(製作期間全体の範囲) 平成13年9月5日～平成15年8月26日	(合計901台)	

(備考) 本件は、平成18年6月29日付け「届出番号1689」にてリコール届出を行ったものですが、対象車両の選定に誤りがあったため、対象車両（2001年式トラクタ）を追加し、新たに届出するものです。

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。